

保健体育

保健体育科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
各種運動の基本的な動きを身に付けるとともに、運動、健康、安全に関する知識を身に付ける。	運動や健康について自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて考え判断するとともに、他者に伝える。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	ア 運動への苦手意識から積極的に取り組むことに抵抗がある生徒が1割ほどいる。 イ 運動の技能に関して、技能のポイントを理解し、自己の課題を発見することに課題がある。	ア ICT 機器を使用し自分の動作をその場でチェックできるようにする。 イ 運動能力に合わせて取り組む内容を変えることで、同じ課題をもった仲間とともに解決方法を話し合える環境をつくる。	・ 単元ごと ・ 通年	
第2学年	ア 運動への苦手意識から積極的に取り組むことに抵抗がある生徒が1割ほどいる。 イ 運動について自己の課題を発見することはできるが、その解決方法を他者に伝えることが難しい。	ア ICT 機器を使用し自分の動作をその場でチェックできるようにするとともに、ペア学習などで互いの動きの課題について助言し合うなど、互いに高め合う活動を行う。 イ 運動能力に合わせて取り組む内容を変えることで、同じ課題をもった仲間とともに解決方法を話し合える環境をつくる。	・ 単元ごと ・ 通年	
第3学年	ア 運動への苦手意識から積極的に取り組むことに抵抗がある生徒が1割ほどいる。 イ 自己の課題が見付かっても解決方法を考えたり、共有したりすることに課題がある。	ア ICT 機器を使用し自分の動作をその場でチェックできるようにするとともに、ペア学習などで互いの動きの課題について助言し合うなど、互いに高め合う活動を行う。 イ 解決方法の基となる情報を学習カードやホワイトボードを使用し視覚化する。また、グループワークでそれらを伝え合う環境をつくる。	・ 単元ごと ・ 通年	

<p><b>■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT 機器を使用し、自分の動作をその場でチェックできるようにする。【重点:個別】</li> <li>・ 良い動きをしている動画を生徒同士で共有することで、運動の課題に関する対話の機会を増やす。また、自己理解を深める。【重点:個別】</li> </ul>	<p><b>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎授業開始時に全体の目標の確認をするとともに、本時の流れを確認する。</li> <li>・ 学習内容を生徒が振り返ることができるように、学習カードに授業のポイントや感想を毎時間記入させる。</li> </ul>
--	--